令和5年度 第1回 藤沢市立鵠洋小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2023年5月26日(金)10時~12時 場 所 鵠洋小学校 相談室

河村 満 会長/鵠沼ふれあいトライアングル 代表 副会長/鵠洋小学校 校長 亀本 淳夫 坂田 千鶴代 鵠沼南地区民生委員児童委員協議会 副会長 出 徳永 理加 鵠沼南地区民生委員児童委員協議会 主任児童委員 寺田 言子 鵠沼地区青少年育成協議会 吉田 正彦 席 学識経験者 (元鵠洋小学校校長) どろんこ児童クラブ 代表 浪川 征子 委 後藤 洋平 KFP(鵠洋ファザーズパトロール)代表 鵠洋小学校PTA 代表 牧 理英 員 山口 秀俊 鵠沼市民センター センター長 増田 真彦 鵠洋小学校 児童支援担当教諭 箬

傍聴人数: 0名

オブザーバー:教育総務課(吉田 功)

1 開 会

- 2 委嘱状等の交付
- 3 自己紹介
- 次 4 会長ならびに副会長の選出
 - 5 議 題
 - (1) 学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)について (学校長)
- 第 (2) 令和5年度鵠洋小学校概要について (学校長)
 - (3) 令和5年度鵠洋小学校学校運営方針について (学校長)
 - (4) 学校の防災教育と地域の防災に対する取り組みについて
 - 6 その他 次回の会議日程
 - 7 閉会

協議

内

容

- (1) 学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール) について
- (2) 令和5年度鵠洋小学校概要について
 - ・ 亀本副会長 本校の施設面での課題や生徒指導の状況等の説明
- (3) 令和5年度鵠洋小学校学校運営方針について
 - ・亀本副会長 重点目標「えがお、あいさつ、まなびあい」の説明 「子どもの疑問や気付きを大切にする教育活動の推進」の説明
 - 全委員 承認

(4) 学校の防災教育と地域の防災に対する取り組みについて

・ 亀本副会長 本校は立地で気にも3.11のような大規模地震が起きた場合に非常に 危険である。そのためにも、児童や家庭にしっかりと防災に対する 意識付けを行っていきたい。

・山口委員 有事の際は、市民センターが地区防災拠点本部となり、学校と市災 害対策本部との連絡調整等を行うことになっている

・吉田委員 地域の様々な組織で、それぞれが大地震に対する対策会議や訓練等 を行っているが、横のつながりが薄く、お互いが何をしているのか 見えてこない。

・後藤委員 3月にKFPでも市内オヤジの会が中心になって大がかりな防災イベントを行った。しかし、鵠洋小に限って何かできることがあるかと考えた時、先生方の負担も配慮する必要があるので、なかなか難しい。

・寺田委員 何か実際に体験させたい。例えば、コロナ禍以前は、鵠沼中学校で 炊き出し訓練をやっていた。最近の子どもは、電気を使わないで何 かをするといった経験をさせてあげたい。

・坂田委員 防災訓練等を企画しても高齢者の方しか集まらない。もちろん、高齢者にとって大切なことではあるが、たくさんの子どもたちにも参加してほしい。

・河村会長 訓練も大切だが、知識を得ることも必要。以前、防災に関する講演会を聞きに行ったが、初めて知ったこともたくさんあり、改めて防災に対する強い意識が芽生えた。

・坂田委員 話を聞くだけでなく映像等で視覚に訴えることも必要。

・後藤委員 大がかりなイベントや識者の講演会も大切だが、子どもたちには、 もっと小さなことから継続的に積み重ねていく必要がある。例えば、 防災月間を設定し、朝や帰りの見守りの際に、大人が子どもに「今、 地震が来たらどうする?」等、ちょっとした投げかけを行っていく。

・吉田委員 子どもだけでなく、保護者に対しても継続して啓発を行う必要がある。どんなやり方が効果的か研究していきたい。

徳永委員 何事も通り一遍で終わらせることのないよう、丁寧に取り組んでい きたい。

・牧委員 PTA活動の中でも、できることを考えていきたい。

・浪川委員 児童クラブでは、起震車体験を年間の行事の中に必ず盛り込んできたが、コロナ禍でできていない年もあった。今年は、コロナ禍で経験していない子たちに必ず体験させてあげたい。

・事務局 次回は各組織・団体で現在行っている取り組みを確認するとともに、 今後、それぞれが連携することで、どんなことができるかを考えて いきたい。

以上